

2015年10月20日

デンカ株式会社
KEW Group Inc.

デンカと米国検査サービス会社『KEW Group』社との連携による 日本におけるがん遺伝子変異調査について

デンカ株式会社（本社：東京、1915年設立、代表取締役社長：吉高紳介、以下「デンカ」）と米国 KEW Group Inc.（本社：マサチューセッツ州ケンブリッジ、2009年設立、社長：Tuan Ha-Ngoc、以下「KEW」）は遺伝子解析技術を用いた、日本の医療機関に対するがん治療法情報提供事業を構築するべく、新潟大学の協力のもと、2015年6月より KEW が開発した解析システム「CancerPlex®」の日本人がん患者への適用性調査を進めております。その結果と具体的な事業計画につきましては、改めてお知らせする予定です。

「CancerPlex®」は KEW の最初の製品で、次世代型シーケンサー（遺伝子の塩基配列読み取り装置）とバイオインフォマティクス（生命情報科学）を駆使した、もっとも網羅的なゲノム遺伝子検査システムのひとつで、400以上のがん遺伝子に着目して、緻密且つ詳細に、そしてタイムリーに固形がんの遺伝子変異を解析するシステムです。

KEW は、がん治療の革命に取り組んでいる非上場のがん遺伝子検査サービス会社で、患者のがん遺伝子変異データと科学的な根拠に基づく最新医療情報を照合し、承認済みの治療法や実用化が期待される治療法の情報を提供しており、この情報のがん専門医が他の所見に対して補完的に使うことで、患者一人ひとりのために実用的で実効性のある、最適な治療方法を設計できるよう支援しています。

デンカは、有機化学品、無機化学品、高分子材料、電子材料および医薬品など、広範囲にわたる化学製品を製造・供給する総合化学会社グループとして、これまで100年にわたり、化学と生化学の革新によって、生活の質と社会の発展に貢献してまいりました。そしてグループの中核の子会社であるデンカ生研株式会社（本社：東京、代表取締役社長：前田哲郎）は、ワクチンや臨床検査薬における世界のトップメーカーのひとつで、患者の皆さま一人ひとりの健康維持と感染症などの治療に必要な、次世代診断法の開発を推進しています。

一人ひとりのがん遺伝子変異を解析し、治療につなげる本システムのアプローチは、より良い生活の質（QOL）を届ける有望な次世代医療の1つとして大きく期待されています。デンカグループと KEW は、今回の共同調査を通じて、日本、そしてアジア諸国、さらには世界のがん患者とその家族が有益な情報にアクセスできるような、次世代医療の具現化を目指してまいります。

※「CancerPlex®」は KEW Group Inc.の登録商標です。

【本発表に関するお問い合わせ先】

デンカ株式会社 CSR・広報室 電話 03-5290-5511